

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|-------------|-----------|---------------|
| ○事業所名 | クラブ晃望台校 | | |
| ○保護者評価実施期間 | 令和7年 2月 1日 | | ～ 令和7年 2月 28日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 27 (回答者数) | 20 |
| ○従業者評価実施期間 | 令和7年 2月 1日 | | ～ 令和7年 2月 28日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 7 (回答者数) | 7 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和7年 3月 31日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|---|--|
| 1 | ・支援の専門性 | ・前職等の経験、知識を生かし様々な状況、状態に合わせた適材適所の職員配置、支援を行っている。 | ・定期的に研修、見学を実施し知識の向上や認識の更新を行っていく。 |
| 2 | ・柔軟で迅速な対応力 | ・家族からの相談に対して、職員間で即座に連携を行い、課題に対しての現時点での効果的な手段の模索、伝達を行っている。 | ・今までの事例の振り返りや想定を行い、対応の手段等の向上を図っていく。 |
| 3 | ・相談をしやすい環境、雰囲気 | ・日常的に何気ないコミュニケーションを行い、相談等をしやすい関係性の構築を図っている。 | ・状況に応じて家族間でも意見交換ができる機会をつくり、より内容の深い話が出るようにする。 |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|--|--|
| 1 | ・保護者等への発信および周知について | ・送迎の際に、口頭での共有を主に行っている為、家族に伝えそびれてしまったりしてしまう。また、非常時の対応等に関しては、非常時がなかったこと等により体制の周知の機会がなかったためと思われる。 | ・表を作成し、連絡したかどうかの有無の確認を行う。また非常事態の対応に関しては、訓練をした際に情報の発信を行っていく。 |
| 2 | ・地域との関わりについて | ・イベント等で社会資源の活用は行っているが、通常カリキュラム等で公園外出や地域の人との関わる機会が少ない。 | ・公園外出や地域のイベント参加等を検討し、地域との関わる機会を増やして開かれた事業所を目指し、包括的な支援を行っていく。 |
| 3 | ・常勤職員、非常勤職員との連携について | ・限られた時間の中で、すべてを共有するまでに至っていない。 | ・申し送りノート等を作成し共有が必要な案件の周知を図っていく。 |